

# 「稚内農業協同組合 稚内牛乳」

## ■ 事業者の概要

- 所在地 : 稚内市
- 運営主体 : 稚内農業協同組合
- 取組内容(分類): 商品販売
- 【ホームページ】<http://jawakkanai.jp/milk>

## ■ 活動経緯・内容

- 稚内は海産物は有名だが農業は知られていないので、稚内副港市場が出来るタイミングで設立(2007年)し、宗谷酪農のPR活動を始めた。
- 10年以上前から市内全部の小学校4年生に食育の活動を行っている。  
出前授業では牛の生態や牛乳の特徴・牛乳の流通などをわかりやすく説明すると共に、稚内牛乳を使用したバター手作り体験を行っている。
- 各種イベントに積極的に参加し、PR活動を行っている。
  - ※幕張で開催された、(一社)全国スーパーマーケット協会主催の「スーパーマーケット・トレードショー」に参加
  - ※北海道庁主催の「北のハイグレード食品に出品」
  - ※宗谷総合振興局主催の「しょく×たび」で牛乳無料配布(どさんこプラザ有楽町)

## ■ 取り組む際に生じた課題と対応方法

- 生乳には自信があり質のいい商品だからといって、儲かりはしない。  
⇒万人受けするよう質を落として安く提供するか、悩むところではある。
- 費用はかかるが、全国的な商談会やイベントに参加しPRすることが重要と考えている。  
続けて参加することで、バイヤーに等に認識してもらうことが出来ている。



◇稚内牛乳



◇のおヨーグルト

## ■ 活動継続の秘訣

○農協の活動なので、信用信頼があると同時に活動体制や費用の心配はない。



◇アイスクリーム

## ■ 活動の成果

### 1) 活動実績 (小学生を対象とした食育活動)

項目	単位	H25 年度	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度
食育活動	回	6	7	4	7	7	7

### 2) 地域に及ぼした影響

- 商品があることで宗谷の酪農のPRがしやすくなった。
- 組合員のモチベーション向上。
- 外へのPRもあるが、酪農後継者が帰ってきているので地元産業に役立っている。
- 設立当初は、牛乳、ソフトクリーム、アイスクリームの製造販売。  
2018年から飲むヨーグルトの製造販売を始めた。
- 稚内ブランドにも選定され、稚内市のふるさと納税返礼品としても人気商品となっている

## ■ 今後の展望

○牛乳が売れ、知名度が上がることにより新規就農者が現れることを期待したい。



◇ソフトクリーム

## ● まとめ

- 宗谷酪農のPRとしては、一定の役割りを果たしている。
- 活動の内容が組合員にも広がり、地域での役割へと繋がっていくことを期待する。
- 飲用として飲まれていなかった地元の牛乳を、地域ブランドとして成長させた。



◇お話をいただいた新井  
経済部長 (R2.2.18取材)

